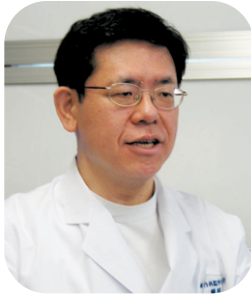




# 「ふらつき」の原因は 脈拍が遅くなる不整脈の場合も



西村内科脳神経外科病院  
師岡 公彦先生  
内科専門医、循環器専門医

歩く時にふらつき、目の前が暗くなる、めまいからくる立ちくらみなど「ふらつき」がある場合、こういった病気が疑われるのでしょうか。

師岡 ふらつきは必ずしも1つの病気を示すものではありません。貧血症、起立性低血圧症などの血圧異常、低血糖、うつや更年期障害、頸椎症、脳血管障害、脳腫瘍などもふらつきの原因になります。

すし、高血圧の薬物治療中にも起こることがあります。また、眼・耳の病気が疑われるので、気でもふらつきを起す。

「ふらつき」は特に高齢者も多いようですが、何か原因があるのでしょうか？

師岡 高齢者に起こるふらつきの原因は十分わかっていないわけではありませんが、最近の画像診断の進歩により多くの情報

女性や高齢者に多い「ふらつき」の症状にはさまざまな原因がありますが、気づきにくいものに脳梗塞や不整脈があります。専門医に話を聞きました。

が得られるようになりました。脳のCTやMRIなどの検査を行いますと多くの場合、小さな脳梗塞が見つかります。おそらく脳の血液循環の悪化

脈拍がゆっくりになる「徐脈」は心不全を引き起こすことも。60歳以上は注意

師岡 見逃してならないものに不整脈などの心臓病があります。じっとしていてもふらつきを感じるといふ症状があれば不整脈、特に洞不全症候群、房室ブロックや徐脈性心房細動を疑います。

つまり「脈拍がゆっくりになる不整脈」の場合と「徐脈」の場合とです。

師岡 脈が遅くなると動悸がする不整脈の場合は、症状がわかりやすいのでご自分から訴える場合が多いですが、反対に脈が遅くなる徐脈の場合は、本人も気がつかない場合が多く悪化していくこと

がふらつきを引き起こしているものと推測されま

す。

ほかには、どのような原因が考えられますか。

心電図検査やホルター心電図での検査を

師岡 心電図検査やいつ起こるか分からない不整脈は24時間連続記録できるホルター心電図による検査が必要です。そして場合によっては運動負荷試験が必要になるかもしれ

もありません。しかし、放っておくと心不全を引き起こす場合もあります。徐脈は特に60歳以上の方に多く見られます。

それは怖いですが、検査はどのように行うのでしょうか。

治療は原因となる疾患によって大きく異なりますから、まず基礎となる病気がないかどうかを調べるのが大前提となります。しかし、一般にみられるふらつきは、先に述べたように脳循環不全に伴うことが多く、またこの疾患の原因として動脈硬化が考えられますから、予防として高血圧や肥満、糖尿病、高脂血症などの生活習慣病に注意することです。

また、早足で歩く日常の運動は全身の循環を良くしますからぜひ実行されることをおすすめします。ふらつきの症状がある場合はまずは相談してください。

労災保険指定病院 生活保護指定病院 原子爆弾被爆者医療指定病院

内科・脳神経外科・消化器科・循環器科・放射線科・呼吸器科

医療法人 知新会

## 西村 内科 脳神経外科 病院

理事長 西村 誠一郎 ◆健康診査の実施  
院長 長吉 本幸生 ◆胃・大腸・肝臓・乳ガン検診  
◆人間ドック・脳ドック

**受付時間**  
月曜～金曜 8:00～17:00  
土曜 8:00～11:30

熊本市南熊本2丁目7-7  
☎096-363-5111(代)

## 東 部 クリニック

院長 佛淵 信夫  
月曜～金曜 8:30～17:30  
土曜 8:30～12:30

熊本市秋津新町1-28  
☎096-369-3331

西村内科脳神経外科病院 (西村) | 東部クリニック (東部)